



## 「ほめて育てる」から「子どもと共に喜ぶ」へ

一時の暑さが嘘のように秋が深まり、日中の戸外の活動が心地よい日が続いています。昨日は、年中組のあるクラスが保育室前のデッキに「クッキー屋さん」を開いていました。机の上には、色とりどりの素材で飾られた、見たこともない面白い色と形をしたクッキー（紙粘土で作ったそうです）が並んでいます。なんと、たくさんの種類のお金まで作られていて、さあいよいよクッキー屋さんの開始ということで、子どもたちが期待いっぱいの表情で準備をしています。

一方今日は、満3歳児クラスの子たちが保育室前のテラスで、集めてきた植物の根っこや葉っぱ、木の実等を入れ物に入れたり、並べたり、転がしたり、ワイワイとプレイテーブルの上で楽しそうに遊んでいます。そこには前日に引き抜いた大きいツタの根っこもありましたが、絵本「大きなかぶ」に大いに喜んだ子どもたちが、かぶの代わりにツタを引き抜いて遊んだみたところ、「ゴボウが抜けた」と大喜び。ゴボウから見立てが広がり、葉っぱや根っこを野菜や他の食べ物に見立てて無心に遊んでいる姿には、『「イメージ」と「言葉」と「もの」をつなげて遊ぶ』力が見事に育っていることを強く感じて、本当にうれしくなります。

そんな豊かな遊びの姿が園内のあちこちで溢れている、木の実の今日この頃です。

さて今回は、今年度から新しく設けた私たちの保育のモットーについてお話ししたいと思います。

モットー Motto とは、組織や個人の信念、方針を簡潔に表したのですが、できるだけ短い言葉で私たちの保育の柱になる考えを伝えたいと思い、長年「ほめて育てる」という言葉を設けてきました。「叱りつけて、脅して子どもを育てる」なんていう否定的な育て方は、邪道中の邪道。子供の努力や頑張り、伸びている力を認め、励ます意味で「ほめて育てる」ことが、子どもの自信と自己肯定感を育てる意味で一番大切という信念で保育を進めていこうという考え方は、この何十年で大きな成果を生み出したという自負があります。

木の実幼稚園の先生方は、子ども一人一人をよく見、思いを理解しながら、励ましたり、促したり、考えさせたりしながら、プラスの言葉をたくさん使って保育を進めています。その姿勢はすべての先生方が持っていると確信しています。

しかし、「ほめる」という言葉には、時として「～ができるようになった」という子供の外側に現れた行動のみに目が行ってしまうという事があり、またほめ言葉も「がんばったね」「よくできたね」「しっかりできたね」とワンパターンになる場合もあって、「ほめて育てる」という考え方をもう一歩進めて、子どもの心の内にまで届き、子どもの心に響くような保育の在り方にまで高めたいという思いがありました。それが、「子どもと共に喜ぶ」という新しい言葉です。とてもシンプルな言葉ですが、実はとても深い思いを込めています。

前述した二つの子どもたちの姿。子どもたちがしてみたいことを見つけ、自分たちなりに工夫し、いろいろな遊びを生み出して、夢中になっている姿。またそこに現れる子どもたちの想像やファンタジーの世界。そこには、変な形やとんでもない発想がある。先生方が予想もしなかった広がりがあり、時として夢中になるあまり、めっちゃくちゃになってしまうことも遊びの世界にはあります。でも、それがものすごく楽しい、心が躍る、時間を忘れるぐらい夢中になっていることが、子どもにとって本当に、本当に尊い時間です。

この子どもの遊びの世界は、がんばったね、よくできたねと「ほめる」というものではないでしょう。そして、そこに生まれた想像やお話の世界、どんどん形を変える表現の世界は、なんと魅力とエネルギーに溢れています。これをまず大人が、保育者がそれこそ真剣に「いっしょに、共に喜べるかどうか」が何より問われることなのです。子どもが遊びの中で「おもしろいなぁ」「たのしいなぁ」と感じている瞬間、瞬間に、子どもの笑顔に、真剣なまなざしに、大人が魅力を感じ、こっちもうれしくならねば保育なんて出来ません。子どもの喜びに、いっしょになって喜びを感じられることこそ、保育のプロです。子どもの遊びを腕組みして観察しているような大人であってはならない、子ども一人一人の心の中で生まれる喜びを感じ取り、子どもはすばらしいなぁと、心の底から一緒に喜べる保育を常に目指して、これからも木の実歩んでまいります。新しいモットーをどうぞよろしく願いいたします。



## 行事予定



|        |     |        |
|--------|-----|--------|
| 5日(水)  | 年少組 | 保育参観   |
| 7日(金)  | 年長組 | 保育参観   |
| 10日(月) | 年中組 | 保育参観   |
| 15日(土) | 年長組 | デイキャンプ |

時間等、詳細は『れんらくアプリ』→幼稚園からのお知らせ(9/24掲載分)をご確認ください。

年少・年中組園児はお休みです。



## お知らせ



### ☆お願い

- ・年間通して水筒を持参しておりますが、最近は暑さもやわらぎ、水筒のお茶を飲む量も減ってきました。秋から冬にかけて水筒を持参する際には、お茶の量を調整して持たせてあげてください。
- ・今年度も松原第五中学校の中学生がSDGsの学習の一環として取り組んでいる「子ども服の回収プロジェクト」に木の実幼稚園も協力することになりました。11月7日～14日まで園に回収ボックスを設置いたしますので、保護者の皆様のご協力をお願い致します。(詳細は、後日『れんらくアプリ』でお知らせ致します。)

### ☆私服のジャンパー着用について

11月以降、次第に寒くなってきますが、登園・降園時の気温に合わせて、バス停や幼稚園門(各自送迎時)まで私服のジャンパーの着用が可能となっております。ただし、バス内、保育室内の暖房も完備されていることから、園では着用しませんので、バス停もしくは門で保護者の方がお持ち帰りください。

### ☆音楽発表会について

年間行事予定でもお知らせしておりましたが、今年度の音楽発表会(12/13・土)について、改めて概要をお知らせ致します。

12月13日(土) 場所: 松原市文化会館

- ・午前の部→Bグループ 【集合】 8:50 【開催時間】 9:30～12:00 (予定)
- ・午後の部→Aグループ 【集合】 13:00 【開催時間】 13:30～16:00 (予定)

※参加者の人数制限は行いませんが、客席数の関係上、指定席としては園児1名につき2席のみとなります。

3名以上で来場される場合は、どなたかは客席後方の自由席または立ち見になりますことを予めご了承ください。(ご兄弟が低年齢の場合は、保護者の膝上で観覧いただくことは可能です。)